OITA UNIVERSITY

大分大学理工学部

〒870-1192　大分市大字旦野原 700 番地
TEL.（097）554-7752　FAX.（097）554-7760
E-mail.kosomu@oita-u.ac.jp
https://www.st.oita-u.ac.jp/

JR

JR大分駅 —（JR豊肥本線 15 分）→ 大分大学前駅 下車

バス

大分駅前 又は 中央通りトキハ前 1 番 から乗車

→ 大分大学正門 又は 大分大学（構内） 下車
大南団地・高江ニュータウン、大分大学行き 40分

→ 大分大学入口 下車
戸次、臼杵、竹田、佐伯行き 40分

2022 年 6 月発行

OITA UNIVERSITY 2022

faculty of
SCIENCE AND TECHNOLOGY

大分大学　理工学部

創生工学科 ／ 共創理工学科

Make the future!

Change!

2023 年度（令和５年度）
２学科８コース体制から
１学科９プログラム体制へ
（設置構想中）

国立大学法人
OITA UNIVERSITY 大分大学

SCIENCE AND TECHNOLOGY

大分大学
理工学部長・工学研究科長
越智 義道

『理工学』って何でしょう？

What is the meaning of 'Science and Technology'?

自然や数理の本質を追究し、様々な事象の概念や法則を見出していく「理学」と、
自然科学や数学を基礎として、社会に役立つ技術や製品を研究・開発する「工学」。
答えの１つとして『理工学』とは、「理学」と「工学」が融合した、人類の未来を拓く学問と言えるでしょう。

大分大学理工学部の創生工学科では、「工学の専門性を究めつつ理学の素養を併せ持つ人材」を、
共創理工学科では、「理学の専門性を究めつつ工学の素養を併せ持つ人材」をそれぞれ養成します。

未来はこの瞬間から始まる。

さあ、あなたも大分大学理工学部へ！

令和５年（2023 年）４月、大分大学理工学部は新しい体制へ移行予定です。（設置構想中）
新しい体制や入試情報は 14 ～ 18 ページにその計画を掲載していますが、最新の情報は、本学ホームページ等でご確認ください。

創生工学科

Department of Innovative Engineering

最先端の工学技術を基礎から習得し、モノづくりの明日を担う人材を育てる。

理学的要素である数物系サイエンスのグローバルな視点を持ち、数物モデル化とシミュレーション技術を通して、安心かつ持続可能な社会の実現のために、付加価値の高いものづくり技術を創生すべく、新たな課題を自ら探求し、問題を整理・分析し、学際領域であるエネルギー・環境科学分野、医工学・福祉工学分野、防災・減災分野における問題に応用することにより、地域からイノベーション創生に取り組むことのできる人材を養成し、「学士（工学）」の学位を授与します。

機械コース
75名

理学の基礎に基づく最先端の機械工学とエネルギー・環境科学等を学び、高効率で環境低負荷な自動車、ロボットなどの機械関連の設計・開発ができる技術者・研究者。

電気電子コース
75名

数学と物理の理学と電気電子工学を融合的に学び、電気エネルギーと電子情報工学の分野に関する基礎から応用までの理論や技術を修得するとともに、実験・演習による技術の体得、さらには数理的な思考方法もできる創造性と専門性を備えた電気電子系技術者・研究者。

福祉メカトロニクスコース
35名

理学系基礎に強く、数理モデル構築力及び高度シミュレーション技術を修得するとともに、機械工学、電気工学を基礎として、先端のメカトロニクス、ロボティックス、サイバネティックス分野を応用した高度福祉社会に貢献できるメカトロニクス及び福祉工学系技術者・研究者。

建築学コース
50名

理学の基礎に基づく最先端の建築構造・材料施工・環境工学と建築設計・都市計画等を学び、安全で持続可能な建築とまちづくりに貢献できる建築士・技術者・研究者。

共創理工学科

Department of Integrated Science and Technology

環境や社会の未来を見つめ、科学および化学の発展に貢献する。

科学技術イノベーションに繋がる自然物（生物・非生物）の原理・原則と客観的な観察と論理的な思考に基づく数理・自然科学を基本とし、基礎科学としての数理科学と応用技術としての情報科学との講義連携、また基礎科学としての自然科学と応用技術としての応用化学との講義連携により、新たな課題を自ら探求し、問題を整理・分析し、数理科学、自然科学、情報科学、応用化学分野における問題や地域の課題に応用できる柔軟な発想をすることができる人材を養成し、「学士（理工学）」の学位を授与します。

数理科学コース
15名

論理的思考力と発見的想像力をあわせもち、数理的知識・推論を活用して問題解決に寄与するとともに、次の世代の発展にも貢献できる科学者、技術者、教育者、研究者。

知能情報システムコース
65名

数理的思考に基づいて事象をモデル化し、計算機による高度なシミュレーションや新たなシステムを自立的にデザイン・構築することができる、国際的に通用する技術者、研究者。

自然科学コース
15名

総合的な自然科学の基礎知識と活用能力をもち、それを理工学的視点から地域社会の発展に応用することができる科学者、技術者、教育者、研究者。

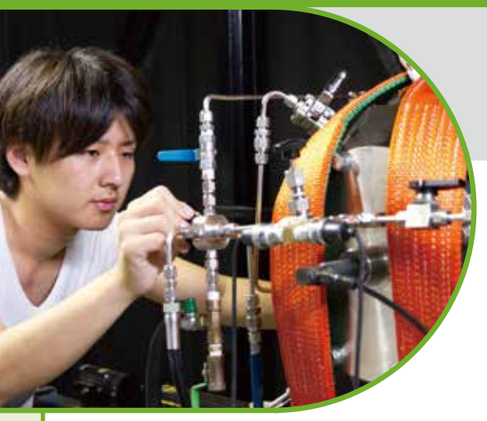
応用化学コース
55名

基礎化学の知識と物質・材料化学及び生物化学の専門知識・技術を有し、それらを活用する能力をもち、地域・企業から地球環境に亘るさまざまな課題解決に生かすことができる技術者・研究者。

創生工学科 Mechanical Engineering

機械コース

入学定員 75名



豊かな創造性と社会性を身につけた機械工学のスペシャリストへ

最先端の機械工学やその基礎技術と利用技術、メカトロニクスおよび先端技術関連分野、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置き学習します。さらには、機械システムの開発・設計に必要なメカニクスや 3D CAD、機械要素・機器の設計法や構造解析、ターボ機械やエンジンの構造と理論、応用設計や機械工学実験などの実技科目も履修し、機械工学の総合的な教育と研究を行います。
本カリキュラムは JABEE* 認定教育プログラムです。
＊日本技術者教育認定機構：https://jabee.org/

主な研究とカリキュラム

熱工学
- 次世代エンジンの性能向上に関する研究
- 代替燃料の高度利用技術に関する研究
- 摂氏 100 度未満の熱を利用した動力発生に関する研究
- 液体金属流動の磁場による制御
- 含水充てん層内の非定常温度特性に関する研究

流体工学
- 流体工学およびターボ機械に関する研究
- 解析力学による非球形気泡群の力学挙動の解明
- 流れの制御と機械装置への応用

材料力学・材料強度
- 銅・銅合金の結晶粒微細化による強度特性の改善と評価
- 非鉛系はんだの多軸クリープ疲労寿命評価法の開発
- 特異応力場による接着接合強度の評価
- 金属材料の強度に及ぼす水素の影響に関する研究

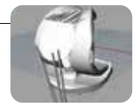
機械力学
- 自動車用 AT の振動抑制技術の開発
- ディスクブレーキ振動の現象解明

制御工学
- 素早い動きに追従するマンマシンインターフェースの開発

機械加工
- 水潤滑下における加工技術および機械要素の研究開発

設計工学
- 筋骨格系と関節運動の力学解析
- 身体動作測定機器の開発

PICK UP 先輩からのメッセージ



私は、人工膝関節の設計評価に関する研究をおこなっています。工学部らしくないテーマにも思えますが、対象が人間の関節であれ、運動や動力学の解析はエンジニアだからこそできることです。特に、現用の人工膝関節の可動範囲を広げ、正座のような膝深屈曲動作を可能にすることを目標に、深屈曲で膝がどのように運動するか、どのような力がかかるかを問題にしています。研究室では、学部で学んだ基礎知識を元に、解析モデル作成、数値解法のほか、三次元 CAD、三次元プリンタを援用しての実験装置作成など、専門的な知識を深めることができています。思うように結果が得られず苦労することもありますが、解析条件の変更や実験装置の改良など試行錯誤しながら日々研究しています。機械コースでは、熱工学や流体工学、材料力学など機械工学分野について重点的に学習します。物の「しくみ」やものづくりに興味のある人にとっては、非常にいい環境だと思います。機械コースで一緒に学びましょう。

大学院工学研究科　博士前期課程工学専攻
機械エネルギー工学コース（2019 年度修了）　川越 雄貴

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目			
専門教育科目	理工学基礎教育科目 （基礎解析学 1･2･3、基礎代数学 1･2･3、力学、サイエンス基礎） 理工学展開科目 （機械数学、工業力学基礎・演習、微分方程式、機械物理学 など）			
	専門科目			
	計算理学基礎 機械工学セミナー 機械製図 機械設計製図 機械工学実習 機械工作法 機械材料学 プログラミング	サイエンス解析 材料力学基礎・解析 熱力学基礎・解析 流体力学基礎・解析 熱工学 流体力学 機械設計学基礎 機械計測工学 CAD 演習 工業倫理 材料力学	機械力学基礎・解析 システム制御 伝熱学 流体工学 機械応用設計・解析 機械工学実験 1 機械工学実験 2 機械力学 熱エネルギー工学 エネルギー移動工学 流体エネルギー工学 機械加工学 * 材料と弾性の力学 * メカトロニクス * 計算力学 * 工業概論（機械）* * は選択	卒業研究 テクニカルイングリッシュ

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

取得可能資格
- □高等学校教諭 1 種免許状（工業）
- □技術士補（ＪＡＢＥＥ認定プログラム修了者）

Tel.（097）554-7763, 7791　Fax.（097）554-7764, 7790　https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ie/machine.html

創生工学科 Electrical and Electronic Engineering

電気電子コース

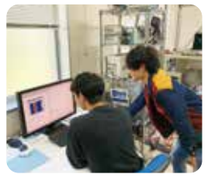
入学定員 75名

ひとびとの生活を支える電気・電子のスペシャリストを目指して

電気電子工学は日常生活に深く浸透しており、あらゆる産業分野が電気電子工学を修めた人材を必要としています。これに応えるように本コースでは電磁気学、電気回路・電子回路、計測、制御、通信、材料、電磁波、高電圧、計算機と基礎から応用まで、知識だけでなく、理解を伴う学びの場を提供します。研究分野もモータ、ネットワーク、電源、半導体材料等の現代社会の基盤を支える技術からプラズマ、音声認識、電磁波解析、ロボットと多岐の分野に挑んでいます。

主な研究とカリキュラム
- 大気圧放電プラズマの開発と環境・マテリアルプロセスへの応用
- 電磁現象を利用した機器の高効率化と最適構造化
- 超高度情報化を見据えた自己修復制御理論の構築
- 雑音環境下での音声処理と音響信号の人間感情検出への応用
- IoT社会の未来を切り拓く光ファイバセンサー・通信・計測の研究
- 電磁環境シミュレーションとその応用
- ナノスケール電子情報デバイスの研究
- 持続可能な社会に向けたセンサ・省エネデバイスの研究
- スイッチング／パワーサプライの研究開発

PICK UP 先輩からのメッセージ



私達の研究室では、モータや変圧器などの電気機器の低損失・高効率化に関する研究を行っています。特に、これらの鉄心として用いられる電磁鋼板やアモルファス薄帯などの磁性材料の磁気特性を活かすための製造技術や計測技術を開発しています。私達は、サーモグラフィカメラを用いた新しい損失分布の可視化装置を用いてモータ鉄心の鉄損分布測定を行い、鉄心製造方法が局所鉄損に与える影響を明らかにしています。今、産業界では、軽量・高出力・高効率のモータ開発が求められており、実際に企業の方々とも共同し、課題に取り組んでいます。どうすれば課題解決に結びつくか、電磁界解析手法を駆使したシミュレーションや、実験装置・条件を改良し試行錯誤しながら研究することで、非常にやりがいを感じます。今後も努力し、研究を続けたいと思います。

大学院工学研究科　博士前期課程工学専攻
電気電子工学コース　櫨立 祐希・前田 純弥

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目			
専門教育科目	理工学基礎教育科目 （基礎解析学 1･2･3、基礎代数学 1･2、力学、サイエンス基礎 など） 理工学展開科目 （物理学実験、電気磁気学 1･2･3･4、複素関数 など）			
	専門科目			
	電気電子工学入門 電気電子数学 電気回路 1 電気回路 2 計算理学基礎 プログラミング	サイエンス解析 電気回路 3 電気電子計測工学 電気電子基礎実験 1 電気電子基礎実験 2 電子回路 1 過渡現象論 情報伝送工学 電気機器工学 電子物性工学 計算機工学 数値解析 インターンシップ A・B	電子回路 2 電気エネルギー変換工学 通信工学 電磁波・光工学 線形システム 電気電子工学実験 1 電気電子工学実験 2 制御工学 電力エネルギー工学 情報理論 高電圧工学 音響工学 半導体工学 機械工学概論 電気電子英語 集積回路工学 電気電子材料 電気法規および施設管理 通信方式 電波・アンテナ工学 プラズマ工学 電子機器 科学英語表現法 ディジタル回路 工業概論 職業指導	論文輪講 マイクロコンピュータ工学 電気機器設計・製図 通信法規 起業家育成講座 卒業研究

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

取得可能資格
- □高等学校教諭 1 種免許状（工業）
- □電気主任技術者免許（第 1 種、第 2 種、第 3 種）
  ※指定科目・単位数を修得の上、卒業後一定期間の実務経験要
- □無線従事者免許 ※指定科目を修得の上、卒業後、申請要
  第 1 級陸上特殊無線技士／第 3 級海上特殊無線技士

Tel.（097）554-7819, 7858　Fax.（097）554-7820, 7859　https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ie/elec.html

創生工学科 Mechatronics

福祉メカトロニクスコース

入学定員 35名

ロボット、ロケット、スマートフォンなど、メカトロ機器の設計と制御の基礎を習得します。

メカトロニクスとは、機械工学と電子工学の融合分野です。メカトロニクス技術の基礎となる機械工学、電気工学、制御工学、情報工学などを広く学び、高度シミュレーション技術、数理モデル構築、ロボティクス、サイバネティクスなどのメカトロニクス関連分野に関する知見を身につけ、QOL（Quality of Life）向上を目的とした福祉マインドを持つ技術者・研究者を育成します。

主な研究とカリキュラム

- 移動機器や入浴支援に関する福祉機器及びトライボロジーに関する研究
- 人の動作の力学的計測とリハビリテーション支援装置への応用
- 人間の感覚機能の計測と福祉機器への応用
- 機能性材料・柔軟材料を用いたインテリジェント福祉機器・ロボット
- 身体運動の計測と解析及びスポーツやレクリエーション、トレーニング用具等の開発
- 大気圧マイクロプラズマの応用と計測に関する研究
- 断続動作特性を有する力学系に関する研究
- 電磁非破壊検査や電磁気計測システムに関する研究
- システム制御のメカトロニクス系および生体系への応用
- 環境に優しい低損失・低騒音電気機器に関する研究

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目			
	理工学基礎教育科目 （基礎解析学 1･2･3、基礎代数学 1･2･3、サイエンス基礎、力学 など） 理工学展開科目 （物理数学 1･2、ベクトル解析、フーリエ解析、複素関数 など）			
専門教育科目	専門科目 情報処理 メカトロニクス入門 計算理学基礎 電気回路 1 プログラミング 生体情報工学	サイエンス解析 材料力学 1 電気回路 2 電磁気学 1 機器設計製図 回路過渡応答論 複合システム解析 材料力学 2 電子回路 1 電磁気学 2 バイオメカニズム 制御工学 1 機械工学実験 熱・流体工学 電気回路演習 電磁気学演習 数値解析 インターンシップ A・B	線形システム論 機器設計工学 1 機構力学 電気機器 1 計測工学 1 電気電子工学実験 電子回路 2 スポーツ工学 身体運動機能学 システム信号処理 機器設計工学演習 非線形システム概論 ロボット工学 制御工学 2 計測制御工学実験 機器設計工学 2 電気機器 2 電力システム工学 生体運動計測法 リハビリテーション工学 計測工学 2 科学英語表現法 工業概論（メカトロニクス） 職業指導 インターンシップ A・B	卒業研究 論文輪講 プラズマ工学 パワーエレクトロニクス テクニカルコミュニケーション 現代制御工学

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP 先輩からのメッセージ

私は 2021 年度に大分大学理工学部を卒業し、翌年度に大分大学大学院工学研究科に入学しました。本コースでは、機械と電気の両方を学び様々な分野に精通することができますが、慣れないうちはその広い視野に戸惑いを感じていました。しかし、そのおかげで、専門性を追いつつも機械分野と電気電子分野という広い視野を手に入れることができました。現在、私は大学院で、様々な電磁気センサの開発を行っています。品質保証を行うための電磁気センサの開発は、現象解明を行う解析の方法から、材料に対する特性や電磁気学の知識など、様々な分野が複雑に絡みます。ですが、この研究を進められるのは、学部時代から培ってきたその広い視野のおかげです。私は、学部時代から学んできたことを生かして、これからも研究に勤しんでいきたいと思っています。

大学院工学研究科　博士前期課程工学専攻
福祉環境工学メカトロニクスコース１年　川田 航平

取得可能資格

□高等学校教諭１種免許状（工業）

Tel.（097）554-7977　Fax.（097）554-7507

https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ie/mecha.html

創生工学科 Architecture

建築学コース

入学定員 50名

人間性豊かな建築と環境 ～空間のコーディネイト～

本コースでは、建築学を主体にしながら最新の幅広い関連分野の知識も修得できるようにカリキュラムを編成し、建築および生活環境を作るために、工学的知識に裏打ちされた技術に関する教育・研究、とりわけ設計教育に情報システムを取り入れて、社会の要請にこたえ広く活躍できる人材の育成を目指しています。また、建築学コースのカリキュラムは JABEE* により認められた教育プログラムです。

＊日本技術者教育認定機構：https://jabee.org/

主な研究とカリキュラム

建築環境

- 建築音場の予測・制御
- 各種材料の音響特性測定手法の開発
- 快適な室内環境の構築

建築計画・都市計画

- 日本住宅の史的考察および現代の住宅計画に関する研究
- 住宅地のエリアマネイジメントとコミュニティの持続性に関する研究
- 地理情報システム(GIS)を活用した空間分析と災害リスク評価
- 空き家や空地などの遊休不動産や公共空間を活用した地域再生
- 地域の生活や生業が創造する重要文化的景観の保全と活用

建築構造

- 新築建物の構造性能向上に関する研究
- 既存建物の耐震補強ならびに地震被災建物の補強に関する研究
- 木材の接合技術の開発
- 木造建築の耐震性能
- 鋼構造建物の耐震性能

建築材料

- コンクリート構造物の劣化と長寿命化
- コンクリートのリサイクル
- 各種副産材料の有効活用

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目			
	理工学基礎教育科目 （基礎解析学 1･2、基礎代数学 1･2、サイエンス基礎、力学 など） 理工学展開科目 （建築図学、ベクトル解析、フーリエ解析、建築物理シミュレーション など）			
専門教育科目	専門科目 建築総論 建築構法 住居論 建築 CAD 製図 1 日本建築史 西洋建築史 構造力学 1 構造力学 1 演習 計算理学基礎 起業家育成講座	建築環境工学 1・2 建築環境工学演習 建築環境解析 建築計画 1・2 建築 CAD 製図 2 建築計画設計演習 1 構造力学 2 構造解析 建築構造設計 1 木質構造 建築材料 建築材料実験 材料力学 測量学実習 電気工学概論 インターンシップ A・B	建築ワークショップ 技術者倫理 建築法規 建築環境計画 1・2 福祉環境計画 建築設備計画 1・2 都市計画 建築計画設計演習 2 建築設計演習 建築構造設計 2 建築耐震システム 塑性設計法 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 基礎構造 建築施工学 リハビリテーション工学 サイエンス解析 身体運動機能学 スポーツ工学 科学英語表現法 機械工学概論 工業概論（建築） 職業指導	卒業研究 建築英語 音響工学

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP 高度な建築技術者を養成

「地域との強い連携に基づく建築技術者養成」プロジェクト（2011～2013 年度）の一環で、木造、鉄骨造および鉄筋コンクリート造の 3 棟の実物大模型を建造するという、世界に類を見ない取り組みを実施しました。現在、この広場“Field of Dreams”は、実際に各構造の特徴を体感できる実用的な教材として機能しています。

取得可能資格

□高等学校教諭１種免許状（工業）
□１級建築士受験資格
□２級建築士及び木造建築士受験資格
□１、２級建築施工管理技士等技術検定の受検資格
※卒業後、一定期間の実務経験が必要
１、２級建設機械施工　　１、２級電気工事施工管理
１、２級土木施工管理　　１、２級管工事施工管理
１、２級建築施工管理　　１、２級造園施工管理
□技術士補（ＪＡＢＥＥ認定プログラム修了者）

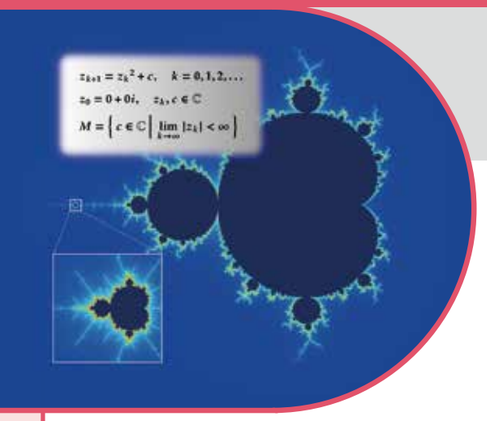
Tel.（097）554-7936　Fax.（097）554-7938

https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ie/arch.html

共創理工学科 Mathematical Sciences

数理科学コース

入学定員 15名



数学の楽しさ・面白さをあなたに 自分自身で考えながら進めるのが魅力です。

数理科学コースでは、数・式・図形・変化の概念を一般化・抽象化していく過程を通して、論理的思考力・科学的分析力・創造的発想力を涵養します。また、これらの能力を基礎に、現実世界の現象理解や状況判断を行うための科学的推論能力を養成します。その上で、これらの力を発展的に融合させることにより、社会のさまざまな領域で高度専門職業人として活躍できる人材を育成します。

主な研究とカリキュラム

代数学
- 群論
- 代数系の構造論
- 離散構造の代数的表現
- 不定方程式
- 素数
- 暗号

幾何学
- トポロジー
- 集合論
- 代数曲線
- 微分幾何
- 等質空間論

解析学
- 関数解析
- 偏微分方程式論
- 数値解析
- 確率論
- ファジィ測度論
- 非線形解析学

統計学
- データマイニング
- 統計数学
- 離散データ解析手法
- 計算機集約的統計解析

情報数学
- 離散系の数学
- 計算機科学
- 分散並列計算

応用数学
- オペレーションズ・リサーチ
- 意思決定法
- 計画数学
- 評価問題
- 視覚障害者支援

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目			
	外国語科目			
	身体・スポーツ科学科目			
専門教育科目	理工学基礎教育科目（力学、科学技術基礎 など）			
	理工学展開科目（情報科学 A･B･B 展望、原子と分子 など）			
	専門科目			
	数理科学概論	解析学３	数理科学輪講Ａ	卒業研究
	解析学１	解析学４	数理科学輪講Ｂ	
	解析学１展望	代数学３	数理科学英語	
	解析学２	代数学Ａ	代数学Ｂ	
	解析学２展望	代数学Ａ展望	代数学Ｃ	
	代数学１	幾何学Ａ	幾何学Ｂ	
	代数学２	幾何学Ａ展望	幾何学Ｃ	
		解析学Ａ	解析学Ｂ	
		解析学Ａ展望	解析学Ｃ	
		応用数学Ａ	応用数学Ｂ	
		応用数学Ａ展望	応用数学Ｃ	
		統計科学Ａ	統計科学Ｂ	
		基礎プログラミング	統計科学Ｂ展望	
		基礎プログラミング演習１	統計科学Ｃ	
		基礎プログラミング演習２	数理科学特別講義Ａ	
		マルチメディア処理	数理科学特別講義Ｂ	
		マルチメディア処理演習	インターンシップＡ	
		音メディア処理	インターンシップＢ	
		コンピュータグラフィックス	キャリア開発指導	
		人工知能基礎	データベースシステム	
		ヒューマン・インターフェース	データベース演習	
			ウェブサイエンス	
			科学英語表現法	

※教員免許取得には上記以外にも履修の必要な科目があります。

PICK UP 在学生インタビュー

インタビュイー：
中山恵介さん（佐賀県出身、大学院進学志望、以下［中］）
和田桃香さん（宮崎県出身、教員志望、以下［和］）

Q1. 数理科学コースを志望した理由は何ですか？

［和］数学はもともと好きでしたが、最初は建築系の学科を志望していました。高校のときの数学の先生がわかりやすかったことや、オープンスクールで数学を教えることの面白さを経験して、数学教員を目指すようになりました。教育学部よりも数学そのものを深く学べそうなので、数理科学コースを選びました。

［中］数学が学びたくて数理科学コースを志望しました。地元の大学と違って１年次から数学を専門的に学べるところが大分大学の数理科学コースを選んだ理由です。大学院に進んで数学を学びたいと思っています。

Q2. 大学の勉強は高校のときとは違いますか？

［和］代数学は今のところ大丈夫ですが、解析学のイプシロンデルタ論法に戸惑っています。どう考えて理解すればよいか手探りの状態で、一番難しいです。

［中］高校で曖昧だったところがわかるようになって面白いです。今のところは理解できていますが、これからもっと深い内容になると難しくなるかも知れません。

Q3. 在学中頑張りたいことはありますか？

［中、和］(声を揃えて) 数学！

［中］留学に興味もあるけど、コロナの関係でどうなるかわかりません。学園祭の委員もやってみたい。

［和］学園祭の委員は楽しそう。高校の時、体育祭の実行委員をしたことがあって、そういうのは好きです。

Q4. 高校生へアドバイスがあればお願いします。

［和］数学の勉強が大事なのは当然として、英語もおろそかにせず、基礎的な部分でよいのでしっかり復習しておいた方がよいです。

［中］数学の公式を単に使うだけでなくその意味を考えたり、他の解法を自分で考えると数学の力が鍛えられると思います。

Q5. 最後に、今後の抱負を教えて下さい。

［中］数学だけでなく色んな分野の知識を深めて大学院での研究に活かしたいです。

［和］数学教員免許を取るための勉強をしつつ、好きな数学について色々な知識を広げたいです。

取得可能資格

□中学校教諭１種免許状（数学）
□高等学校教諭１種免許状（数学）

Tel.（097）554-7752　Fax.（097）554-7760　https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ist/math.html

共創理工学科 Computer Science and Intelligent Systems

知能情報システムコース

入学定員 65名

情報科学と計算機科学の基礎から応用まで 新世代知的IT（情報技術）革命の担い手を育成。

情報科学の基礎から情報・知能工学の応用まで、先端技術に関する教育と研究に加えて、ICT の基礎となるプログラミング技術やソフトウェアの開発技術、情報化社会を支えるコンピュータ、インターネット、セキュリティ等の理論と設計能力、ビッグデータを有効に活用するためのマルチメディアや知識処理に関する最新技術とその応用などについて学びます。また、JABEE* により認められた教育プログラム「知能情報プログラム」を設けています。

＊日本技術者教育認定機構：https://jabee.org/

主な研究とカリキュラム

高見 研究室
- 機械学習・群知能の応用
- 生体情報解析
- xReality・画像処理
- 自律型ドローンと環境操作
- 物体・環境計測と環境地図

古家 研究室
- 音響・音声・音楽などの音メディア処理
- マルチチャンネル音響処理

大竹 研究室
- LSI の論理設計とテスト・設計自動化 (CAD)
- コンピュータの高信頼化
- IoT
- 拡張現実（AR）

中島 研究室
- ヒューマンコンピュータインタラクション
- ディジタルアーカイブ
- ウェブキュレーション
- アクティブラーニング支援

畑中 研究室
- 画像認識
- 医用画像の診断支援
- マルチエージェントシミュレーション
- 五感の相互作用解析

紙名 研究室
- プログラミング言語
- ソフトウェア工学

行天 研究室
- 文書画像・ベクタデータの認識・解析
- データマイニング
- テキストコミュニケーション支援

池部 研究室
- ネットワーク運用
- ネットワークセキュリティ
- 情報システム
- 分散処理

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目			
	外国語科目			
	身体・スポーツ科学科目			
専門教育科目	理工学基礎教育科目（科学技術基礎、基礎解析学 1･2･3、基礎代数学 1･2･3 など）			
	理工学展開科目（情報論理学、計算機科学概論、情報科学 C など）			
	専門科目			
	基礎プログラミング	情報構造論	ソフトウエア工学２	情報工学特別講義１・２
	基礎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ演習１・２	応用ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ演習２	ｿﾌﾄｳｴｱ開発演習２	音響工学
	アルゴリズム論	計算機ｱｰｷﾃｸﾁｬ２	情報セキュリティ	情報工学特別実習４Ａ・Ｂ
	応用ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ演習１	ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ	計算機システム実験	卒業研究
	計算機ｱｰｷﾃｸﾁｬ１	計算機科学演習	言語処理	
	起業家育成講座	機械工学概論	知識処理論	
		音メディア処理	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	
		ソフトウエア工学１	情報職業指導	
		ｿﾌﾄｳｴｱ開発演習１	統計科学Ｂ	
		ディジタル回路	統計科学Ｂ展望	
		情報ネットワーク	応用数学Ｂ	
		統計科学Ａ	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｼｽﾃﾑ	
		応用数学Ａ	データベース演習	
		応用数学Ａ展望	コンピュータグラフィックス	
		マルチメディア処理	知能システム実験	
		ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ処理演習	情報英語	
		人工知能基礎	情報ｾｷｭﾘﾃｨ演習	
		ヒューマン・インタフェース	知的処理演習	
		情報工学特別実習２Ａ・Ｂ	技術者倫理	
			情報職業指導演習	
			統計科学Ｃ	
			ウェブサイエンス	
			科学英語表現法	
			情報工学特別実習３Ａ・Ｂ	
			インターンシップＡ・Ｂ	

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP 先輩からのメッセージ

私は計算機ネットワークを研究対象としている研究室に所属しており、IoT 機器に対する悪意ある攻撃を防ぐための不正検知システムについての研究に取り組んでいます。

コースとしては、C 言語や Java を学習した後、実験で組込みソフトウェアを開発したり、ロボットを制御したりすることでプログラミング技術を身につけることができます。また、人工知能や情報ネットワーク、音メディア処理など様々な分野を学習できるため、興味のある分野や私たちの身近にある IoT 機器に用いられる技術を深く理解することができます。就活・進学へのサポートも手厚いので、自分なりのキャリアデザインを自由にすることができます。

大学院工学研究科　博士前期課程工学専攻　知能情報システム工学コース　川田 凌也

取得可能資格

□高等学校教諭１種免許状（情報）
□JABEE 認定教育プログラムの修了にともなう資格※

※ 知能情報システムコースの「知能情報プログラム（JABEE 認定）」の卒業生は、JABEE 認定技術者教育プログラム修了証が与えられ、技術士第一次試験が免除され、さらに修習技術者資格および申請により技術士補資格が得られます。その後、最短で 4 年間の実績を積めば第二次試験の受験資格が得られます。

計算機科学演習（プログラミングキャンプ）

計算機プログラミングに関する集中的な演習を実施し、２年生の計算機並びにプログラミング手法の理解を促す研修です。最終的にコンテストを行い、優秀者は表彰します。また、２年生 - 大学院生間の親睦を深めるとともに、２年生がより充実したキャンパスライフを送って行く上で、大切な行事の１つとなっています。

Tel.（097）554-7866 Fax.（097）554-7886　https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ist/csis.html

共創理工学科 Natural Sciences

自然科学コース

入学定員 15名

科学の基礎を支える自然科学
-未知なる世界を解き明かせ！-

生命科学、物質科学、地球科学など幅広い自然科学の理論と地域社会の発展に資する科学技術を総合的に学びます。教育課程では、物理、化学、生物、地学の各基礎分野の講義と実験科目を配し必修としています。これらの基礎の上に、知識を深化させる科目として、量子論、分子構造解析、環境生物学、宇宙科学等を設け、さらに各分野の融合科目や、専門性を社会に還元する科目によって、自然科学の"実践力"を養います。

主な研究とカリキュラム

芝原 研究室
- 構造有機化学

長屋 研究室
- ソフトマター実験物理学
- 液晶光学デバイス

永野 研究室
- 生態学
- 生物多様性学

末谷 研究室
- 非線形物理学
- 複雑系数理科学

北西 研究室
- 保全生物学
- 分子生態学

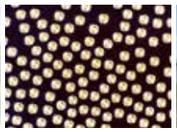
西垣 研究室
- 海流の力学メカニズム
- 地域の微気象

岩下 研究室
- 液体・ガラスの物理学

泉 研究室
- 植物形態学
- 細胞生物学

小西 研究室
- 天文学（星惑星形成）
- 太陽系外惑星の観測

近藤 研究室
- 低温物性
- 教育工学



	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目			
	理工学基礎教育科目 （基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎地学 など） 理工学展開科目 （物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験 など）			
専門教育科目	専門科目			
	自然科学概論 計算理学基礎 無機化学	有機化学概論 環境生物学 環境地球科学 自然科学特別講義１ 機能物質化学１ 分子生物学 生物系統学 物理化学１ 物理化学２ 物理化学３ 生物化学 電磁気学 食品科学概論 インターンシップＡ	地域資源フィールドワーク 自然科学特別講義２ 機能物質化学２ 応用生物学 応用生物学実験 気象学 量子論 有機構造解析 大気海洋科学 有機化学実験 食品衛生化学１ 食品衛生化学２ 宇宙科学 機器分析 遺伝子科学 生体高分子 科学英語表現法 食品化学工学 インターンシップＢ 起業家育成講座	外書講読 卒業研究

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP 自然科学コースの特色

2017 年に大分県ではじめて理学と工学の両方を学べるコースが誕生しました。自然科学コースでは、実験や計算機シミュレーション、観測や野外活動等を通じて、科学の基盤となる自然科学の基礎や論理的思考を着実に身につけることができます。

取得可能資格
- □中学校教諭１種免許状（理科）
- □高等学校教諭１種免許状（理科）

受験可能資格
- □甲種危険物取扱者

※化学に関する所定の科目を 15 単位以上修得することにより受験資格のある試験

Tel.（097）554-7752　Fax.（097）554-7760

https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ist/natural.html

共創理工学科 Applied Chemistry

応用化学コース

入学定員 55名

人類・地球環境・エネルギー等を化学的視野でとらえ
最先端の化学技術開発をリードする人材を育てます。

化学およびその応用分野の基礎となる物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、高分子化学、生物化学、食品関連科目などの必須科目を学ぶとともに、自分の興味のある研究に必要な専門知識と実験技術を習得するために、専門科目群の中から該当する科目を選択して学びます。そして、４年間の総仕上げの卒業研究（物質変換、エネルギー変換・貯蔵材料、高機能・高性能材料、高精度微量分析技術、食品・生命科学、廃棄物資源循環システムなど）を通して原子と分子の視点からのモノづくりを学びます。

主な研究とカリキュラム

豊田 研究室
- 膨張化炭素繊維
- グラフェン
- 空気二次電池
- 水素吸蔵材料
- 燃料電池
- 電極材料、触媒

石川・信岡 研究室
- イオン液体と生物有機化学
- 機能性ナノ炭素材料の合成
- 地域一次農産物に含まれる生理活性物質の探索と合成

氏家・守山 研究室
- 高分子材料
- 液晶材料
- ゲル
- 光機能性材料

大賀・原田 研究室
- 物理有機化学
- 高圧化学
- 有機合成化学
- 偏光分光
- キラル化学

平田 研究室
- 化学工学
- 環境工学
- 生物工学
- 食品工学
- 廃棄物再資源化
- 環境浄化
- 発酵プロセス

井上・江藤 研究室
- 分析化学
- レーザー化学
- 光科学
- 環境試料分析
- 分子認識化学
- ナノ粒子
- マイクロチャンネル
- 溶液化学

檜垣 研究室
- ソフトマテリアル工学
- コロイド化学
- 表面／界面化学
- バイオマテリアル

衣本 研究室
- 電池・燃料電池・電気分解
- 水素製造・竹
- セルロースナノファイバー
- ベンチャー

近藤 研究室
- 材料化学
- 結晶構造解析
- 吸着・分離・精製
- 地球温暖化対策

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	全学共通科目 外国語科目 身体・スポーツ科学科目			
	理工学基礎教育科目 （基礎解析学１･2、基礎代数学１、力学、科学技術基礎 など） 理工学展開科目 （化学１･2 など）			
専門教育科目	専門科目			
	応用化学入門 無機化学 分析化学 有機化学１ 化学実験入門	有機化学２ 有機化学３ 物理化学１ 物理化学２ 物理化学３ 生物化学 錯体化学 有機機能化学 化学実験 応用化学特別講義１ 食品科学概論 科学倫理	食品衛生化学１ 食品衛生化学２ 応用化学特別講義２ 化学工学 食品化学工学 高分子化学 応用化学実験１ 応用化学実験２ 応用化学実験３ 電気化学 無機材料化学 機器分析 反応有機化学 科学概論 触媒化学 無機工業化学 有機工業化学 分子分光学 遺伝子科学 生体高分子 機能物質科学 科学英語表現法	卒業研究 情報機器操作 論文講読演習１ 論文講読演習２

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP 応用化学入門

高校から大学への勉学のスムーズな移行とコミュニケーション能力や学習スキルを学ぶことを目的とし、10人程度のグループに分かれて全教員で担当します。各研究室で行われている最先端の研究にも触れることができます。

取得可能資格
- □高等学校教諭１種免許状（理科）
- □毒物劇物取扱責任者 ※卒業単位を修得すること（卒業）により得られる資格

受験可能資格
- □甲種危険物取扱者 ※卒業単位を修得することにより受験資格のある試験

Tel.（097）554-7907　Fax.（097）554-7907

https://www.st.oita-u.ac.jp/college/ist/chemistry.html

Graduate School of Engineering

大学院工学研究科

質の高い特色ある教育と研究を通じた科学技術の創造と地域への貢献
豊かな創造性、社会性、及び人間性を備えた人材の育成

現在の科学技術は、世界的な規模で、高度化、複雑化、多様化が進むと同時に研究開発のスピードもその加速度を増しています。わが国でも、俯瞰力と独創力を備え、グローバルに活躍する科学技術人材の育成が急務となっています。これらの背景を踏まえ、本学の使命・責任を果たすためには、社会の要請に応じた質の高い分野横断的教育を実施する必要があります。その実現に向けて、工学研究科では平成 28 年度から、博士前期課程では１専攻６コース制、博士後期課程では１専攻２コース制による教育課程とし、専門性、俯瞰力、国際性、創造力、および新技術創出のための実践力を培ってきました。さらに、令和３年度からは、これまでの工学専門教育プログラムに加えて、博士前期課程の２コースの中にそれぞれ新たな教育プログラムを設置し、現代の輻輳した課題に対しその科学技術の根源からとらえ直し、包括的かつ革新的な解決策を創造できる技術者を養成するよう教育プログラムの強化を行うこととしています。

博士前期課程では、確かな専門性を身に着けるために、入学時に選択した教育プログラムに応じてコース分けを行います。一方で、各教育プログラムにおける専門科目群以外に、分野横断型・融合応用研究教育プロジェクト科目群及び分野横断型基礎科目群を設けており、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応できる教育課程編成になっています。

博士後期課程においては、専門性を担保するために、学生は入学時に、ものづくりの革新を推進する物質生産工学コースあるいは情報と人間環境における技術革新を推進する環境工学コースのどちらかを選択します。先に述べた複合的視点やグローバルな展開能力を身に着けるために、俯瞰力養成セミナー、国際実践演習、プロジェクト演習、キャリアパス設計等の科目を設けるとともに、講義科目を１専攻５分野（応用化学分野、機械工学分野、電気電子工学分野、建築学分野、情報工学分野）に分類し、イノベーション創出のために必要となる全分野から履修できるようにしています。

■ 大学院の組織図

大学院工学研究科 博士前期課程工学専攻
（標準修業年限 2 年）
Graduate School of Engineering (Master Course)
入学定員135名

- 機械エネルギー工学コース　工学専門教育プログラム　Mechanical and Energy Systems Engineering Program　26名
- 電気電子工学コース　工学専門教育プログラム　Electrical and Electronic Engineering Program　26名
- 知能情報システム工学コース　工学専門教育プログラム　数理科学教育プログラム　Computer Science and Intelligent Systems Program　28名
- 応用化学コース　工学専門教育プログラム　自然科学教育プログラム　Applied Chemistry Program　25名
- 福祉環境工学建築学コース　工学専門教育プログラム　Architecture and Mechatronics Engineering – Architecture Program　18名
- 福祉環境工学メカトロニクスコース　工学専門教育プログラム　Architecture and Mechatronics Engineering – Mechatronics Program　12名

大学院工学研究科 博士後期課程工学専攻
（標準修業年限 3 年）
Graduate School of Engineering (Doctor Course)
入学定員　8名

- 物質生産工学コース　Materials Science and Production Engineering　5名
- 環境工学コース　Energy and Environmental Engineering　3名

※コース毎の人数はおおよその目安です。

博士前期課程

機械エネルギー工学コース

機械工学とエネルギー工学の両分野の広い知識と応用力を修得の上、高度な研究活動に参加させることで総合的な問題解決能力と独創性を持つ人材を育成します。

電気電子工学コース

電気電子工学全般の幅広い知識を身につけ、研究能力を養うことに重点を置き、電気電子工学の分野で指導的な役割を果たす創造性豊かな研究者および技術者を育成します。

取得可能資格　□高等学校教諭専修免許状（工業）

知能情報システム工学コース

「知」と「情報」の本質を見極めながら、情報の生成・処理・伝達に係わる情報システムのハードウェアおよびソフトウェアについて、高度の専門知識を修得して、人間を含めた知的で有機的なシステム構築ができる情報技術者・研究者を養成します。

取得可能資格　□高等学校教諭専修免許状（情報）

知能情報システム工学コース（数理科学教育プログラム）

高度に発展した科学技術を支える数理科学分野の知識や論理的思考能力を持ち、新たな課題の探求・発見・解決ができる研究者および教育者を養成します。

取得可能資格　□中学校教諭専修免許状（数学）　□高等学校教諭専修免許状（数学）

応用化学コース

高度な化学について教育を行うとともに、化学の基礎研究ならびに社会的要請の高い新規機能性材料の開発、環境に調和したエネルギー変換、物質製造プロセスの開発などの研究活動を通して、最先端の研究をリードできる人材を育成します。

取得可能資格　□高等学校教諭専修免許状（工業）

応用化学コース（自然科学教育プログラム）

自然科学における専門分野と隣接する関連領域とを俯瞰できる総合的な知識を備えつつ、一方で多角的な視点からも科学的な課題を捉えることのできる研究者、技術者、教育者を養成します。

取得可能資格　□中学校教諭専修免許状（理科）　□高等学校教諭専修免許状（理科）

福祉環境工学建築学コース

高度化・多様化する社会の要請、持続可能な建築と都市・地域環境形成に応えうる能力と技術を修得した建築技術者、研究者を育成します。

福祉環境工学メカトロニクスコース

人間とそれを取り巻く環境をひとつのシステムとして考えられる人間性重視の設計思想をもった高度技術者及び研究者を養成します。

取得可能資格　□高等学校教諭専修免許状（工業）

博士後期課程

物質生産工学コース

現代社会を構成する機能要素としての物質の機能の解明、生産技術の開発、さらに物質に付加された各種の情報の生産と処理技術に関する教育研究を行います。

科学技術の発展は、新しい物質の発見と、それを生産する技術の改良によって支えられてきました。新規な機能を有する物質の発見と効率的生産がさらに新しい技術を生み出し、大量生産を可能にするとともに産業の発展を促してきました。近年は先端技術分野で用いられる物質に対する要求が高度化し、従来とは異なった発想に基づく創造的生産技術が求められています。これからは、個々の過程を別個にとらえるのではなく、高い機能を有する物質の設計から機能を発現させる製造技術、そして高品質大量生産を可能にする生産プロセスまで、一つのシステムとしてとらえることが必要です。本コースは、新規な物質の開発と生産技術、及びシステム化をめぐる課題を取り上げて教育研究を行います。

環境工学コース

人類の諸活動が環境に与えるインパクトを解明するために、快適な環境の計画と設計、さらに知的活動の支援や環境をコントロールするための情報システムに関する教育研究を行います。

科学技術の進歩とともに生産活動が活発になるのに伴い、人間を取り巻く環境は急速に変化しています。無限とも思われてきた環境容量を超える生産活動は、今や地球規模で環境に重大な影響を及ぼしつつあり、調和のとれた発展が強く望まれます。一方、情報化社会の到来・生活水準の高度化などに伴い、快適な生活環境に対する要求が強くなっています。このような社会の要求に応えるためには、単なる問題解決型の取り組みのみによるものではなく、快適な自然環境と調和の取れた人工環境の創造という視点に立った人間工学的、情報・システム科学的観点からのアプローチが必要です。本コースは、環境をめぐる種々の課題について、人間環境、環境情報の観点から取り上げて教育研究を行います。

Tel.(097)554-7758　Fax.(097)554-7760

https://www.st.oita-u.ac.jp/gs/

Change!
2023年度(令和5年度)
2学科8コース体制から
1学科9プログラム体制へ
(設置構想中)

大分大学理工学部は２学科８コース体制から１学科９プログラム体制へ移行予定です(設置構想中)

今後さらに開発のスピードが増し、イノベーティブに技術を革新し続けることが求められる
新時代の科学技術開発に対応するために、2023年度には理工学部を理工学科の１学科・９プログラムに再編して、
柔軟な分野間連携教育・研究が可能な「新たな理工学部」に生まれ変わることを計画しています。

理工学部改組 (令和５年(2023年)４月設置予定)

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

現行

理工学部
(定員385名)

創生工学科	(235)
機械コース	(75)
電気電子コース	(75)
福祉メカトロニクスコース	(35)
建築学コース	(50)
共創理工学科	(150)
数理科学コース	(15)
知能情報システムコース	(65)
自然科学コース	(15)
応用化学コース	(55)

環境・防災意識の高まり、
脱炭素化社会の構築、SDGs、AI技術の普及、
DX、データサイエンス推進の機運、
Society 5.0、宇宙港の誘致

地域社会からの期待
大分大学の新たな人材育成との連動
理工学分野における急速な技術革新への対応

1学科9プログラム化
理工学専門分野(プログラム)間の柔軟な連携により
教育を推進する体制を構築

改組後

理工学部
理工学科
(定員355名)

1年次(プログラム群配属)	２年次以降(プログラム配属(募集の目安))	
数学、情報システム	数理科学プログラム	(13)
	知能情報システムプログラム	(60)
物理、電子電気エネルギー	**物理学連携プログラム**	(10)
	電気エネルギー・電子工学プログラム	(65)
機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	(67)
	知能機械システムプログラム	(28)
化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	(52)
環境科学、建築	**地域環境科学プログラム**	(15)
	建築学プログラム	(45)

学内他部局との連携
・医学部
(先進医療科学科(設置申請中))
・減災・復興デザイン教育研究センター
(CERD)

学外組織との連携
・大分県
・企業、団体
・他大学・高専

理工学部改組

(９プログラム：養成する人材像の概要)

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

Change!
2023年度(令和5年度)
2学科8コース体制から
1学科9プログラム体制へ
(設置構想中)

入試情報 予定

Entrance Examination Information

理工学部は令和５年４月に１学科９プログラムに再編を予定しており、ここには再編後の予定を掲載しています。
現在、文部科学省に設置申請中であり、審査結果によっては今後内容が変更になる場合もあります。
最新の情報は、本学ホームページまたは令和５年度入学者選抜要項(令和４年７月発行予定)及びその後に発行される
各選抜の募集要項(令和４年８月以降発行予定)をご覧ください。

募集人員

学科	プログラム	入学定員	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	学校推薦型選抜 学校推薦型選抜I※1		学校推薦型選抜 学校推薦型選抜II	総合型選抜※2
理工学科	数理科学プログラム	355	244	49※3				
	知能情報システムプログラム				一般推薦 5 サイエンス推薦 2	7		5
	物理学連携プログラム							
	電気エネルギー・電子工学プログラム				一般推薦 8	8		2
	機械工学プログラム				一般推薦 10	10		5
	知能機械システムプログラム				一般推薦 4 サイエンス推薦 1	5		1
	生命・物質化学プログラム				一般推薦 6 サイエンス推薦 2	8		
	地域環境科学プログラム							2
	建築学プログラム						5	4
	計	355※4	244	49	一般推薦 33 サイエンス推薦 5	38	5	19
			293		43			

※1 サイエンス推薦は科学に関する特別活動(例：科学クラブ等の課外活動、SSH プログラム等)に取り組んだ経験のある者を対象とします
※2 工業系、総合学科を卒業予定の者を対象とします
※3 数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムでは後期日程受験者のプログラム仮配属はありません。
※4 特別入試(私費外国人留学生入試および帰国子女入試)若干名を含みます

募集人員(募集の目安)

理工学部理工学科一般選抜(前期日程)では、出願時に全９プログラム(数理科学、知能情報システム、電気エネルギー・電子工学、物理学連携、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、地域環境科学、建築学)から、第１志望から順に最大第９志望まで選んで出願することができます。
また、理工学部理工学科一般選抜(後期日程)では、出願時に６プログラム(知能情報システム、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、建築学)から、第１志望から順に最大第６志望まで選んで出願することができます。
ただし、理科の選択科目によって志願できるプログラムには制限を設けます。合否判定は、受験者を成績順に並べ、上位より志望プログラムに仮配属を行います。詳細は、募集要項で確認してください。

プログラム群	プログラム	募集の目安 前期日程	募集の目安 後期日程
数学、情報システム	数理科学プログラム	13	
	知能情報システムプログラム	39	9
物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	
	電気エネルギー・電子工学プログラム	46	9
機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
	知能機械システムプログラム	16	6
化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	37	7
環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	
	建築学プログラム	28	8
合計		244	49

※数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムでは後期日程受験者のプログラム仮配属はありません。

入学者選抜試験実施状況(令和４年度)

選抜区分		一般選抜(前期日程)			一般選抜(後期日程)			学校推薦型選抜				総合型選抜			特別入試(帰社私)			合　計		
学科	コース	募集	志願	入学	募集	志願	入学	区分	募集	志願	入学	募集	志願	入学	募集	志願	入学	募集	志願	入学
創生工学科	機械コース	47	148	44	12	126	15	一般	11	21	11	5	10	8	若干	0	0	75	305	78
	電気電子コース	52	190	51	11	109	11	一般	10	15	11	2	2	1	若干	1	0	75	317	74
	福祉メカトロニクスコース	18	38	17	7	55	7	一般	6	24	4	2	6	2	若干	0	0	35	125	32
								サイエンス	2	2	2									
	建築学コース	35	175	36	10	130	12					5	7	4	若干	0	0	50	312	52
共創理工学科	数理科学コース	15	47	16											若干	0	0	15	47	16
	知能情報システムコース	40	151	36	10	120	16	一般	7	24	7	6	16	6	若干	0	0	65	318	67
								サイエンス	2	7	2									
	自然科学コース	12	34	11	3	38	1								若干	0	0	15	72	12
	応用化学コース	38	124	35	10	124	17	一般	4	12	4				若干	1	0	55	264	59
								サイエンス	3	3	3									
	理工学部合計	257	907	246	63	702	79		45	108	44	20	41	21	若干	2	0	385	1,760	390

Change!
2023年度（令和５年度）
２学科８コース体制から
１学科９プログラム体制へ
（設置構想中）

学校推薦型選抜Ⅰ

	実施プログラム		配点	評価ポイント
一般推薦	知能情報システムプログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 生命物質化学プログラム	基礎能力試験	300	○高等学校等で学習した内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価
		面接	150	○志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価 ○基礎学力に関する試問を通して、理解力・論理的思考能力・表現力を評価
		調査書・推薦書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況 ○人物的に優れ、大学入学後も優秀な成績を修め得ること ○合格した場合、入学を確約できること
	計		500	

	実施プログラム		配点	評価ポイント
サイエンス推薦	知能情報システムプログラム 知能機械システムプログラム 生命物質化学プログラム	プレゼンテーション	200	○科学に関する特別活動についての発表とそれらに関する質疑応答を行い、理解・自己表現力を評価
		面接	250	○志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価 ○基礎学力に関する試問を通して、理解力・論理的思考能力・表現力を評価
		調査書・推薦書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況 ○人物的に優れ、大学入学後も優秀な成績を修め得ること ○合格した場合、入学を確約できること
	計		500	

学校推薦型選抜Ⅱ

実施プログラム		配点	評価ポイント
建築学プログラム	大学入学共通テスト	900	○日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価
	小論文	250	○課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価
	個人面接	300	○志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価
	調査書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況
計		1500	

大学入学共通テスト指定教科・科目名		
教科	科目名等	配点
国語	「国」	125
数学	「数Ⅰ・数A」と 「数Ⅱ・数B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から１ } の２	150 150
地理歴史・公民	「世B」「日B」「地理B」「倫・政経」から１※1	75
理科	「物理」 「化学」「生物」から１	100 100
外国語	「英」「独」「仏」「中」「韓」から１　［５教科７科目］	200

※１「地理歴史」及び「公民」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第１解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第１解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

総合型選抜

実施プログラム			配点	評価ポイント
知能情報システムプログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 地域環境科学プログラム 建築学プログラム	第１次選考※1	自己推薦書	50	○今後の目標、入学後の勉学意欲を評価
		活動報告書	150	○卒業製作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などの実績を評価
		調査書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況 ○人物的に優れ、大学入学後も優秀な成績を修め得ること
	第２次選考※2	面接・筆記試験	250	○志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価 ○基礎学力に関する試問を通して、理解力・論理的思考能力・表現力を評価 ○高等学校等で学習する内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価
計			500	

※１ 第１次選考の合格者は，各プログラムとも募集人員の３倍程度とします。
※２ 知能情報システムプログラム，地域環境科学プログラム，建築学プログラムは面接と筆記試験，電気エネルギー・電子工学プログラム，機械工学プログラム，知能情報システムプログラムは面接を実施します。

Change!
2023年度（令和５年度）
２学科８コース体制から
１学科９プログラム体制へ
（設置構想中）

一般選抜［前期］

前期日程

学科	プログラム	大学入学共通テスト 教科・科目名等	個別学力検査 教科・科目名等
理工学科	物理学連携プログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム	国　語　「国語」１科目 地　歴　「世界史B」「日本史B」「地理B」 公　民　「倫理、政治・経済」から１科目※1 数　学　「数学Ⅰ・数学A」1 科目 「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から１科目 理　科　「物理」１科目 「化学」「生物」から１科目 外国語　「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目	数　学　[数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B]1 教科 ※数学Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数学Bは「数列、ベクトル」 理　科　[物理基礎・物理] [化学基礎・化学] [生物基礎・生物] から１科目 （ただし、表記のプログラムを第一志望とする場合は物理必須）
	数理科学プログラム 知能情報システムプログラム 生命・物質化学プログラム 地域環境科学プログラム	国　語　「国語」１科目 地　歴　「世界史B」「日本史B」「地理B」 公　民　「倫理、政治・経済」から１科目※1 数　学　「数学Ⅰ・数学A」1 科目 「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から１科目 理　科　「物理」「化学」「生物」から２科目 外国語　「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から１科目	数　学　[数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B]1 教科 ※数学Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数学Bは「数列、ベクトル」 理　科　[物理基礎・物理] [化学基礎・化学] [生物基礎・生物] から１科目

第１志望から最大第９志望まで志望できます。ただし、共通テストで「物理」を選択していない場合、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムは志望できません。
また、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第１志望とする場合は、個別学力検査で物理を選択する必要があります。
※１「地理歴史」及び「公民」の科目において、２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第１解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第１解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

配点

試験の区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	当初配点		特色加点
大学入学共通テスト	150	75	50×2	50×2	200	625	＋	20※
個別学力検査			200	200		400		
計	150	75	300	300	200	1025		

※申請者のみ

特色加点について

1. 高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、根拠となる資料等とともにWebを通じて提出。
2. 具体例：探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動など。
3. 根拠となる資料等の具体例：活動過程の記録（ポートフォリオ）、賞状、新聞記事等。
4. 活動実績の優劣ではなく、活動を通しての成長及び入学選抜の基本方針で示す「主体性・協働力」、「知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・粘り強さ」、「自立的に考え、かつ他者と共同して取り組む姿勢」、「リーダーシップと行動力を発揮する意思」について総合的に評価。

※当初配点（共通テスト＋個別）とは別に加点する。
※申請は任意

Change!
2023年度(令和5年度)
2学科8コース体制から
1学科9プログラム体制へ
(設置構想中)

一般選抜[後期]

後期日程

学科	プログラム	大学入学共通テスト 教科・科目名等	個別学力検査 教科・科目名等
理工学科	電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 建築学プログラム	国　語　「国語」1科目 地　歴　「世界史B」「日本史B」「地理B」 公　民　「倫理、政治・経済」から1科目※1 数　学　「数学Ⅰ・数学A」1科目 「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理　科　「物理」1科目 「化学」「生物」から1科目 外国語　「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	面　接
	知能情報システムプログラム 生命・物質化学プログラム	国　語　「国語」1科目 地　歴　「世界史B」「日本史B」「地理B」 公　民　「倫理、政治・経済」から1科目※1 数　学　「数学Ⅰ・数学A」1科目 「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理　科　「物理」「化学」「生物」から2科目 外国語　「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	

第1志望から最大第6志望まで志望できます。
ただし、共通テストで「物理」を選択していない場合、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムは志望できません。

※1「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

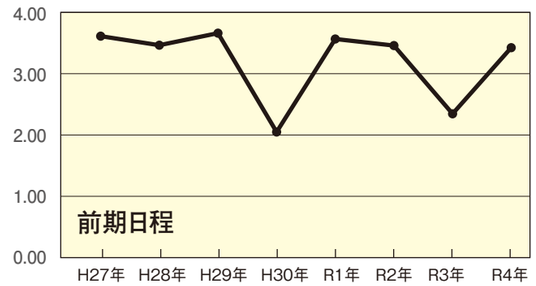
配点

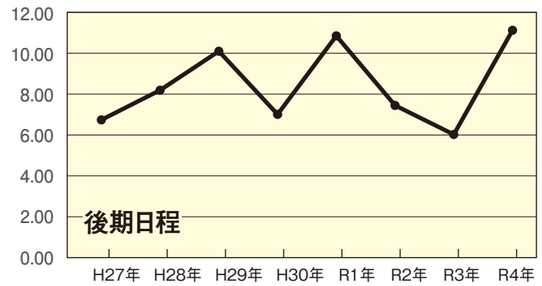
試験の区分	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
大学入学共通テスト	125	75	150×2	100×2	200		900
個別学力検査						200	200
計	125	75	300	200	200	200	1100

数字でみる理工学部

Data of Faculty of Science and Technology 2022

志願倍率の推移(理工学部全体)





※平成28年度以前は工学部のデータです。

女子学生入学状況

令和4年3月卒の
理工学部・
工学部・工学研究科
女子学生の
就職内定率は
91.0%!

学科	コース	入学定員	女子学生の入学者数※							
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
創生工学科	機械コース	75	3	3	4	7	0	5	6	5
	電気電子コース	75	5	4	9	8	6	1	4	6
	福祉メカトロニクスコース	35	4	8	14	5	7	9	9	7
	建築学コース	50	13	13	15	21	14	17	14	14
共創理工学科	数理科学コース	15			4	5	2	1	1	4
	知能情報システムコース	65	11	15	11	16	13	8	11	8
	自然科学コース	15			6	8	1	6	5	2
	応用化学コース	55	14	19	18	22	20	23	25	17
	計	385	50	62	81	92	63	70	75	63

※平成28年度までは工学部のデータです。

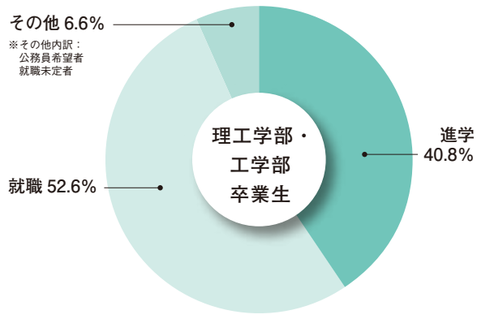
大分大学では、平成22年に「女性研究者サポート室」を、
25年に「男女共同参画推進室“FAB”」を設置して、
『理系女子(リケジョ)』を支援しています!

http://www.fab.oita-u.ac.jp/

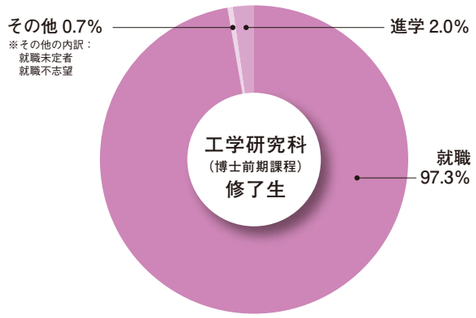
卒業後の進路について

Data of Career after Graduation 2022

進路

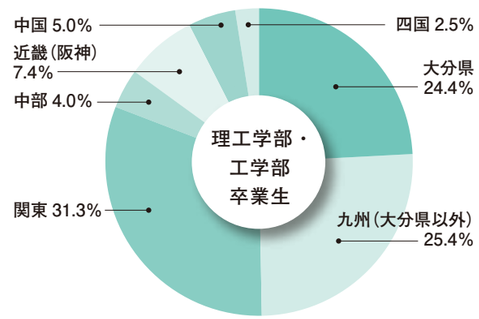


令和４年３月卒業

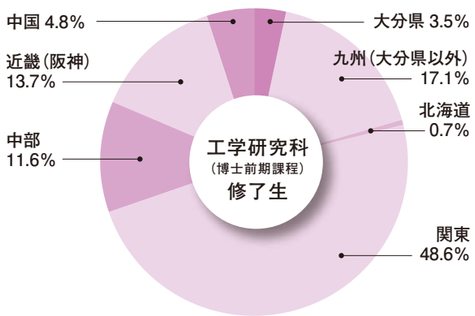


令和４年３月博士前期課程修了

地域別就職先

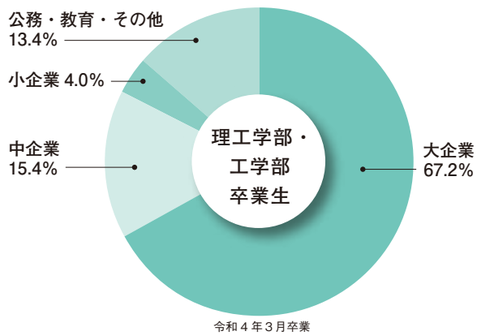


令和４年３月卒業

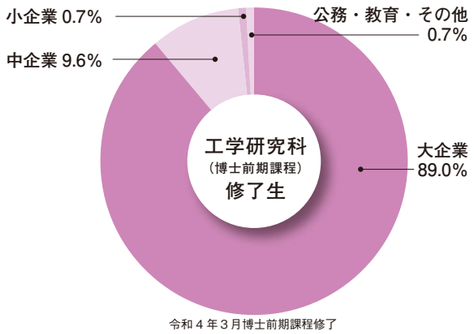


令和４年３月博士前期課程修了

企業別就職先



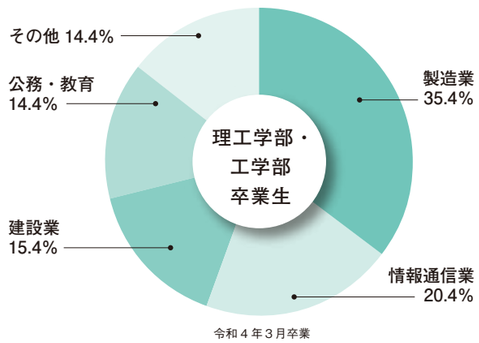
令和４年３月卒業



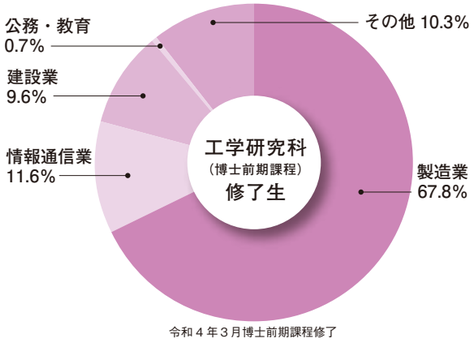
令和４年３月博士前期課程修了

・大企業（従業員 500 人以上または資本金１億円以上）　・中企業（100-499 人または１千万円 - １億円未満）　・小企業（100 人未満または１千万円未満）

産業別就職先



令和４年３月卒業



令和４年３月博士前期課程修了

主な就職先

※工学部卒業生の就職先も含まれています。※数理科学コース, 自然科学コースは 2021 年３月に初の卒業生を輩出しました。

機械コース	トヨタ自動車㈱、本田技研工業㈱、ダイハツ工業㈱、スズキ㈱、日本製鉄㈱、京セラ㈱、太平洋セメント㈱、JFE エンジニアリング㈱、西日本電線㈱、ミネベアミツミ㈱、NOK ㈱、㈱マキタ、日立造船㈱、㈱三井 E＆S ホールディングス、今治造船㈱、東芝三菱電機産業システム㈱、明石機械工業㈱、フォスター電機㈱、㈱カンセツ、西川計測㈱、上野精機㈱、㈱ジェイデバイス、ヤンマーアグリジャパン㈱、ヤンマー建機㈱、佐世保重工業㈱、大分キヤノン㈱、㈱佐伯建設、エスティケイテクノロジー㈱、㈱デンケン、㈱ SUBARU、三菱自動車㈱、㈱ IHI、TOTO ㈱、宇部興産㈱、コベルコ建機㈱、㈱シマノ、三菱電機エンジニアリング㈱、三井金属鉱業㈱、㈱アマダ、宇部興産機械㈱、㈱京都製作所、㈱ソラシドエア、日立オートモティブシステムズ㈱、三菱電機㈱、㈱安川電機、シャープ㈱、㈱九電ハイテック、㈱九電工、新日鐵住金㈱、三菱マテリアル㈱、日鉄住金テクノロジー㈱、川崎重工業㈱、㈱日本製鋼所、ホンダ技研工業㈱、㈱クボタ、㈱小糸製作所、NTN ㈱、㈱ GS ユアサ、デンカ㈱、三井造船㈱、㈱名村造船所、DME 森精機㈱、東芝機械㈱、㈱北川鉄工所、太平洋セメント㈱、日鉄住金物産㈱、大分キヤノンマテリアル㈱、㈱京製メック、テラル㈱、大和冷機工業㈱、高齢・障害・求職者雇用支援機構、福岡県庁、大分県警察、大分市役所、福岡市役所、豊後大野市役所　他
電気電子コース	三菱電機㈱、パナソニック㈱、㈱東芝、㈱村田製作所、日本電気㈱、㈱安川電機、富士電機㈱、三菱電機エンジニアリング㈱、東芝三菱電機産業システム㈱、㈱日立産機システム、ミネベアミツミ㈱、アズビル㈱、京セラ㈱、オムロン㈱、新電元工業㈱、東京エレクトロン㈱、㈱オリジン、ラピスセミコンダクタ㈱、京セラドキュメントソリューションズ㈱、西日本電信電話㈱、㈱ NTT ドコモ、㈱エヌ・ティ・ティ・データ、富士通テレコムネットワークス㈱、ソフトバンク㈱、日立国際電気㈱、㈱ IHI、住友重機械工業㈱、ニチコン㈱、㈱京都製作所、メタウォーター㈱、三菱電機ビルテクノサービス㈱、㈱SCREEN ホールディングス、NOK㈱、日本航空電子工業㈱、安川オートメーションドライブ㈱、JFE プラントエンジ㈱、矢崎総業㈱、東芝プラントシステム㈱、太平洋セメント㈱、スズキ㈱、㈱ SUBARU、ダイハツ工業㈱、マツダ㈱、㈱デンソー、㈱アイシン、㈱日産オートモーティブテクノロジー、㈱デンソーテン、日本製鉄㈱、住友化学㈱、西日本旅客鉄道㈱、㈱日立パワーソリューションズ、㈱きんでん、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱、ローム・アポロ㈱、長崎キヤノン㈱、㈱富士通九州システムズ、㈱九州テン、エコー電子工業㈱、ダイハツ九州㈱、㈱トヨタプロダクションエンジニアリング、三井ハイテック㈱、九州電力㈱、㈱九電工、西日本プラント工業㈱、西部電気工業㈱、日本ガス㈱、四国電力㈱、太陽石油㈱、宇部興産㈱、㈱ネオシス、大分キヤノン㈱、大分キヤノンマテリアル㈱、㈱ジャパンセミコンダクター、㈱石井工作研究所、栗原工業㈱、京製メック㈱、㈱大分放送、西日本電線㈱、西川計測㈱、㈱デンケン、STK テクノロジ㈱、モバイルクリエイト㈱、㈱大和冷機工業、大分シーイーシー㈱、大分県庁、大分市役所 他
福祉メカトロニクスコース	三菱電機㈱、パナソニック㈱、シャープ㈱、㈱安川電機、京セラ㈱、スズキ㈱、いすゞ自動車㈱、ダイハツ㈱、大分キヤノン㈱、㈱村田製作所、㈱クボタ、三井化学㈱、ミツミ電機㈱、ナブテスコ㈱、㈱九電工、昭和電工㈱、中部電力㈱、宇部興産㈱、東京エレクトロン㈱、有薗製作所㈱、オムロン阿蘇㈱、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱、㈱日立ソリューションズ西日本、NTT システム開発㈱、三菱電機コントロールソフトウエア㈱、東芝メディカルシステムズ㈱、旭化成 EIC ソリューション㈱、川澄化学工業㈱、㈱ジェイデバイス、三菱電機エンジニアリング㈱、NTN ㈱、㈱日本製鋼所、㈱ダイヘン、NOK ㈱、THK ㈱、西日本電線㈱、㈱デンケン、エスティケイテクノロジー、㈱京製メック、柳井電機工業㈱ 、豊洋精工㈱、大分市役所　他
建築学コース	鹿島建設㈱、大成建設㈱、清水建設㈱、㈱竹中工務店、三井住友建設㈱、前田建設工業㈱、東急建設㈱、㈱フジタ、㈱熊谷組、㈱穴吹工務店、㈱錢高組、㈱鴻池組、建装工業㈱、九州旅客鉄道㈱、大鉄工業㈱、九鉄工業㈱、日本国土開発㈱、昭和建設㈱、ケーアンドイー㈱、菱栄テクニカ㈱、吉原建設㈱、高陽建設㈱、梅林建設㈱、㈱佐伯建設、平倉建設㈱、大和ハウス工業㈱、積水ハウス㈱、住友林業㈱、旭化成ホームズ㈱、㈱一条工務店、セキスイハイム九州㈱、ミサワホーム九州㈱、三井ホーム㈱、㈱斉藤工務店、㈱ハウジングスタッフ、山根ホールディングス㈱、㈱アネシス、ヤマサハウス㈱、㈱シアーズホーム、大和ハウスリフォーム㈱、㈱ハウジングプラザ、㈱パナソニックホームズ大分、㈱大気社、三建設備工業㈱、JFE シビル㈱、銘建工業㈱、中国木材㈱、㈱麻生、JR 西日本不動産開発㈱、㈱乃村工藝社、㈱飯島建築事務所、㈱共同建築設計事務所、㈱エスパス建築事務所、㈱ PAL 構造、㈱横河ブリッジホールディングス、東九州設計工務㈱、㈱大有設計、国土交通省九州地方整備局、大分県庁、福岡県庁、長崎県庁、宮崎県庁、島根県庁、香川県庁、高知県庁、大分市役所、福岡市役所、熊本市役所　他
数理科学コース	㈱オーイーシー、㈱アイエンター、㈱アルトナー、イー・アンド・エム㈱、㈱桑野設計、㈱サニックス・ソフトウェア・デザイン、ジェイリース㈱、㈱ジェック、㈱デンソー宮崎、長島観光開発㈱、㈱バルニバービ、㈱日立ソリューションズ・クリエイト、modis ㈱、大分県公立中学校、福岡県公立中学校、長崎日大高等学校・中学校、大分県庁、大分市役所
知能情報システムコース	富士通㈱、三菱電機㈱、㈱日立製作所、パナソニック㈱、㈱ NTT ドコモ、NTT 西日本㈱、NTT 東日本㈱、㈱明電舎、京セラ㈱、三菱電機インフォメーションネットワーク㈱、三菱電機ソフトウェア㈱、㈱日立ソリューションズ、NEC ソリューションイノベータ㈱、NEC フィールディング㈱、NEC ネッツアイ㈱、ソニーセミコンダクタソリューションズ㈱、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱、リコー IT ソリューションズ㈱、東京海上日動システムズ㈱、京セラコミュニケーションシステム㈱、㈱オービック、㈱オプテージ、ソフトバンク㈱、㈱ USEN-NEXT HOLDINGS、㈱ゼンリン、九州旅客鉄道㈱、パナソニックシステムデザイン㈱、九州 NS ソリューションズ㈱、㈱ NTT データ九州、㈱ドコモ CS 九州、九電ビジネスソリューションズ㈱、JR 九州システムソリューションズ㈱、㈱インフォセンス、㈱シティアスコム、㈱ RKKCS、㈱オーイーシー、㈱シーイーシー、モバイルクリエイト㈱、㈱大銀コンピュータサービス、スズキ㈱、いすゞ自動車㈱、国土交通省九州地方整備局、大分県警 他
自然科学コース	㈱日立システムズ、㈱ NTT データ九州、中外テクノス㈱、㈱ジェイテック、広島県庁、佐賀県公立中学校、大分県公立高等学校
応用化学コース	新日鐵化学㈱、京セラ㈱、住友化学㈱、東ソー㈱、山九㈱、JFE ミネラル㈱、パナソニック㈱、旭化成㈱、㈱東芝、ハリマ化成㈱、積水樹脂㈱、太平洋セメント㈱、住友大阪セメント㈱、㈱新日本科学、㈱三ツワフロン、西部ガス㈱、東郷メディキット㈱、関西保温工業㈱、川崎化成工業㈱、㈱タムラ製作所、イサハヤ電子㈱、不二鉱材㈱、伸和コントロールズ㈱、ニチアス㈱、凸版印刷㈱、日本郵政㈱、長崎県庁、福岡県警察、フンドーキン醤油㈱、富士甚醤油㈱、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱、㈱ジャパンセミコンダクター、㈱日本マイクロニクス、㈱ J デバイス、住友化学大分工場㈱、大分キヤノン㈱、大分キヤノンマテリアル㈱、モバイルクリエイト㈱、大和冷機工業㈱、新日鉄住金環境プラントソリューションズ㈱、富士紡ホールディングス㈱、大分瓦斯㈱、㈱地域科学研究所、㈱大分銀行、大分合同新聞社、大分市役所、臼杵市役所、大分県庁、大分県警察　他

主な大学院進学先

大分大学大学院、九州大学大学院、東北大学大学院、早稲田大学大学院、九州工業大学大学院、筑波大学大学院、長崎大学大学院、愛媛大学大学院、龍谷大学大学院

国際交流協定校

2022 年 4 月 1 日現在

印は理工学部主体の交流校

フィンランド
TAMK 大学

スウェーデン
メーラダーレン大学

ポーランド
西ポメラニア工科大学

イギリス
ハートフォードシャー大学　マンチェスター大学
セントラル・ランカシャー大学

オランダ
NHL ステンデン応用科学大学
HU ユトレヒト大学

フランス
レンヌ第 2 大学　ル・マン大学
オルレアン大学

イタリア
パヴィア大学

ドイツ連邦共和国
パダボーン大学

ハンガリー
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学
ブダペスト・メトロポリタン大学

タイ
チェンマイ大学　ラチャウィティ病院
コンケン大学　タマサート大学
マヒドン大学

ブータン王国
ケサル・ギャルポ医科学大学

カザフスタン
セメイ医科大学

ケニア
ケニア医学研究所

サウジアラビア
アルファイサル大学

マレーシア
マレーシア国立サバ大学

シンガポール
南洋ポリテクニック

コンゴ民主共和国
ムブジマイ大学

ベトナム
ハノイ医科大学
ホーチミン医科薬科大学
ベトナム国家大学ハノイ校経済学部
バクマイ病院
セントポール病院
フエ医科薬科大学
ベトナム国家大学ハノイ校外国語学部
チョーライ病院
108 病院

ロシア連邦
I.M. セチェノフ名称
モスクワ国立第一医科大学
ピラゴフ名称ロシア国立医学研究大学
オムスク国立医科大学
クラコフ名称産科・婦人科・新生児科科学センター

台湾
東海大学　開南大学

フィリピン共和国
サン・ラザロ病院　セントルークス病院
アテネオ・デ・マニラ大学

カンボジア
カルメット病院

中華人民共和国
江漢大学　武漢大学
遼寧師範大学　内蒙古民族大学
香港大学　黒龍江大学
河北師範大学　北京林業大学
華中科技大学　内蒙古大学
深圳大学　陝西師範大学
対外経済貿易大学
中南財経政法大学

アメリカ合衆国
サンフランシスコ州立大学
テキサス大学オースチン校
ノースキャロライナ大学シャーロット校
サンディエゴ州立大学
アイオワ州立大学

大韓民国
韓国交通大学校　嘉泉大学校
西京大学校　江南大学校
嶺南大学校　釜山大学校
ソウル女子大学校　江陵原州大学校
高麗大学校　光州大学校
梨花女子大学校　大邱大学校
順天大学校　順天郷大学
培材大学校

ドミニカ共和国
サントドミンゴ自治大学

インドネシア
バンドン工科大学　アイルランガ大学
マラナタ・クリスチャン大学

オーストラリア
西オーストラリア大学
ウーロンゴング大学

（他学部の協定校は記載していません）

大分大学の奨学支援システム

学部生数：4,835 名／大学院生数：594 名

修学支援新制度

修学支援新制度は「大学修学支援法」という法律に基づき学部生の主に非課税世帯や低所得世帯を対象に入学料、授業料が採用区分に応じて減額または免除されるものです。また、学資支援として、返還の必要がない奨学金が給付されます。

修学支援新制度による令和 3 年度　入学料免除実績

全額免除	81 名	一部免除	66 名

修学支援新制度による令和 3 年度　授業料免除実績（前後期延べ人数）

全額免除	614 名	一部免除	548 名

日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類	奨学生数（令和 3.5.1）	
●第一種奨学金（無利子）	●第一種のみ	1,150 名（給付との併用含む）
●第二種奨学金（有利子）	●第二種のみ	608 名（給付との併用含む）
●給付型奨学金	●第一種・第二種の併用	291 名（給付との併用含む）
	●給付型	656 名

※　第一種及び第二種奨学金は在学生の 37.7％が利用しています。

入学料徴収猶予

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀な方、または入学前 1 年以内に学資負担者が亡くなった、もしくは風水害等の災害にあった方は、入学料徴収猶予を申請することができます。申請は入学手続き時に行います。

令和 3 年度実績

徴収猶予	141 名

大分大学奨学融資制度

本学独自の制度で地元金融機関から授業料について融資を受けた場合、在学中の利息を大分大学が負担するものです。募集は 8 月の下旬頃行う予定です。

民間奨学財団奨学金
地方公共団体奨学金

団 体 数：24
奨学生数：70 名（2022.3.1 現在）

海外留学制度

大分大学が交流協定を結んでいる大学への派遣留学

○31 か国 101 大学・期間（2022 年 4 月 1 日現在）
○半年または 1 年
○協定先で取得した単位は規定を満たせば卒業単位として認定
○留学中も大分大学に学費を納入し、留学先での授業料は原則無料
○往復旅費、生活費（寮費、食費など）は自己負担
○派遣留学のための奨学金（日本学生支援機構）への申請が可能
○応募資格：協定校が求める語学能力（TOEFL 等）を有すること

短期語学研修

○夏休みまたは春休みの期間中に、短期集中で語学を学ぶと同時に留学先の国（韓国、イギリス、ドイツ、中国、台湾、フィリピン）の文化を学ぶ

学生寮

入寮年限は 2 年です。

経済的事由および地理的事由（通学に要する時間が 90 分以上）を考慮して選考されます

○単身個室タイプ 290 室（身体等に障がいのある学生専用居室 2 室を含む）
○男子ゾーン、女子ゾーン、留学生ゾーンによりエリア分けされています
○設備は、ベッド（マットなし）、机、いす、クローゼット、ユニットバストイレ、エアコン、ミニキッチン（ＩＨ）、インターネット配線、TV 配線

必要経費

居室使用料	20,000 円／月
維持管理費	2,000 円／月
水道料	2,000 円／月
インターネット料	2,037 円／月
維持管理一時金（退去時原形復旧費）	26,400 円（入居時）